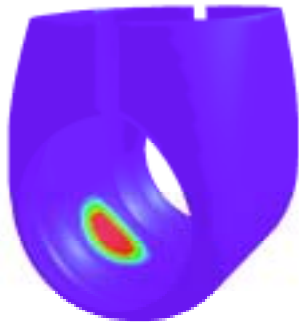


おむつ: CFD解析で更なる快適設計を

おむつ内部の流体科学はとても複雑で、材質の多孔性、織り方、流体の粘度などを考慮しなければならない。いいおむつの設計には、吸収性に関する問題の解決が明らかに不可欠だ。



子供のおむつ漏れに悩んだことのある親なら、吸収性の大事さをよくご存知のはずだ。当の赤ん坊自身もそう思っているに違いない。...というのは推測の域を出ない問題であるが、ともかく、



おむつ内部の流体科学はとても複雑で、材質の多孔性、織り方、流体の粘度などを考慮しなければならない。いいおむつ

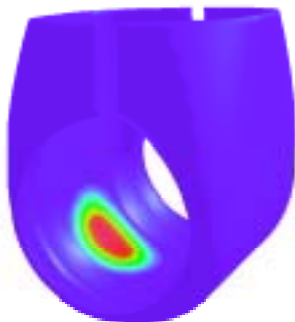
に関する貴重な詳細データが得られるし、排泄物が繊維の隙間や溝を流れるイメージも把握できる。

生理用ナプキンなど、吸収性が問われる他の製品に関しても同じアプローチをとることができる。CFDをこのような分野に適用するとは、なかなか興味深い。

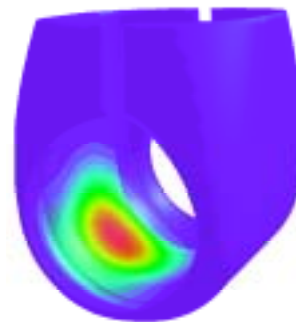


これで赤ん坊も快適なおむつライフをエンジョイすることができるだろう。さて、次はおまるの解析が必要だ。

の設計には、吸収性に関する問題の解決が明らかに不可欠だ。解剖学上の違いがあるため、おむつの設計にも男女別々の要求がなされるが、実際のところ



ポイントとなる流れの問題は、非常に似通っている。織布繊維と不織布繊維とでおむつ内の形態がどうなるか、各層の厚みと吸収性の関連性はこういったものか。このような研究・製造の問題解析に、CFDは役立っている。様々なデザインに対応した、おむつ内の吸湿量分布



通常使用時の男の子用おむつを時系列で示した

